



仮想マシンの設定と管理

この章の内容は、次のとおりです。

- [vSphere クライアントの仮想マシンへのハードディスクの追加 \(2-1 ページ\)](#)
- [ネットワークの設定 \(2-1 ページ\)](#)

vSphere クライアントの仮想マシンへのハードディスクの追加

仮想マシン (VM) にハードディスクを追加する際に、新しい仮想ディスクを作成したり、既存の仮想ディスクを追加したり、マッピングされたストレージエリア ネットワーク (SAN) 論理ユニット番号 (LUN) を追加したりすることができます。

ほとんどの場合、デフォルトのデバイス ノードを受け入れることができます。ハードディスクについては、ブート順序を制御するのにも、異なるタイプの Small Computer System Interface (SCSI) コントローラを使用するのにも、非デフォルトのデバイス ノードが実用的です。たとえば、LSI Logic コントローラから起動し、バス共有を有効にして Buslogic コントローラを使用し、他の VM とデータ ディスクを共有する方法があります。

詳細については、「[vSphere Client での、仮想マシンへのハードディスクの追加](#)」を参照してください。

ネットワークの設定

デフォルトでは、VM はホスト ネットワークの設定を使用します。そのため、VM アダプタを ESXi で設定する必要はありません。パブリックとプライベートの両方のネットワークがホストに接続され、VM からこれらの両方のネットワークにアクセスする場合、vSphere クライアントで VM アダプタを設定する必要があります。

詳細については、「[vSphere Web Client でのホスト マシンのネットワークの構成](#)」を参照してください。

